

令和6年度 第2回居合道四段・五段審査会講評

教士七段 橋本政美

令和7年3月22日（土）東京武道館第二武道場で審査が開催されました。  
早朝より準備をしていただいた関係の方々には大変感謝申し上げます。  
ありがとうございました。

実技審査は始めに古流一本、全剣連制定居合指定技は 三本目（受け流し）・六本目（諸手突き）・八本目（顔面当て）・十一本目（総切り）の5本となりました。  
結果 四段合格者は49名中12名の合格(25%)五段合格者は32名中11名の合格(26.7%)  
となりました。みごと合格された方おめでとうございます。更なる上を目指していただき  
たいと思います。残念ながら今回通らなかった方には教本とともに振り返り次回必ず合格  
されることを節に祈っております。

今回の講評にあたり感じたことを述べさせていただきます。

四段・五段の審査着目点はこれまでの判定基準を見させていただくことに加え

- 1 心の落ち着き
- 2 目付
- 3 気魄
- 4 気・剣・体の一致

が要求されます。この1～4をどう表現するかが求められる段位となります。上記を常に思  
いながら稽古を繰り返していただければ活きた居合に繋がることなのだと思います。

演武で感じたことを書かせていただきます。

【礼法】

不十分の方が見受けられました。立姿・座姿も居合が要求されます、また刀を重んじる扱  
いをされているでしょうか。座礼では左手が先に床に着き右手を迎えます、では戻るとき  
は何故右手・左手の順なのでしょうかと考えてみると礼法も「技」としての心持を忘れない  
ことが大切ではないでしょうか。

【古流】

始めに古流を抜いていただきますが古流は修業の深さ・制定居合は正確さが求められる訳  
ですが制定居合を深める為にも古流の研究は大切です。今回古流の取り組みの深さを見さ  
せていただきました。

### 【技について】

抜き出した刃筋と方向が合っていない方が見受けられました鞘と刀の関係かと思われます。特に六本目に見受けられましたがどんな技の抜き出しも一本目（前）と同じように扱はなければなりません。鞘から刀の抜き出しは、例えば鯉口が抜く方向に向いているか右手小指側の筋肉と刀が一直線上になっているか等どうあるべきか研究してみてください。

### 【体裁き】

六本目・八本目の対敵への足捌きは違うはずですが変化が見えない方がいらっしやいました。また顔面当てから振り返った時後ろ足踵が十分かえっていない方も見受けました、後ろ足に乗る（張る）意識を持たれたらいかがでしょうか。また八本目の突きは腰が開くことなく下半身は正体であることを確認していただきたいとおもいます。

終わりに

どんな技も体裁きが刀の運用に繋がる稽古を研究してみてください。

そしてすべての技に対して敵の どこを切るのか・どこに抜き打つのか・どこを突くのか  
会得され開始から終了まで仮想敵を「見続ける」ことが大切ではないでしょうか。

簡単ではありますが自分自身を戒める思いで書かせていただきました。

少しでも少しでも今後の稽古の指針となれば幸いに思います。